

第 21 回番組審議会議事録

- 1 . 開催年月日 平成 21 年 3 月 30 日(月) 午前 1 1 : 0 0 ~ 1 2 : 1 0

- 2 . 開催場所 箕面市船場東 2-5-47 COM 3 号館 5 階 COM 倶楽部会議室

- 3 . 委員の出席 委員総数 10 名

 出席委員 10 名

 出席委員の氏名 稲垣千秋、稲井信也、井上光央、加藤真知子
 桑田政美、須貝昭子、高谷和彦、中 宏
 中村 保、牧野直子

 放送事業者側出席氏名 尾池 良行（代表取締役）
 岡田 堅治（取締役総務部長）
 大平麻由美（編成課長）
 野間 耕平（編成課員）

- 4 . 委員紹介

- 5 . 委員長・副委員長選出
 委員長に稲垣千秋氏、副委員長に牧野直子氏が選出されました。

- 6 . 尾池代表取締役挨拶

7 . 議 題 1) 番組「ナセバナル！週刊・倉田哲郎市長」について

2) 4月からの番組編成について

8 . 議事の概要 稲垣委員長が議長となり、委員 10 名の審議となる。

9 . 審議内容

1) 番組「ナセバナル！週刊・倉田哲郎市長」平成 21 年 2 月 2 日放送分について

(1) 事務局より番組説明

平成 20 年 8 月新市長が誕生し、同年 10 月スタートの番組であり、市長の発信を受けて市の情報をキャッチしようという趣旨のコーナーである

(2) 番組聴取

(3) 審 議

事 務 局：いろいろ取材したいなかで、市民の方に親しみやすく聞いて頂くにはどういった工夫をしていったらいいかというのが今後の課題かと思っております。皆様のご意見をお伺い出来ればと思っております。

稲垣委員長：行政は勿論のこと、市民の皆さんのいろんな出来事、幅広くとりあげて今まで番組を行ってきました。只今聴取頂いたナセバナル週刊倉田倉田市長、今まで放送してきたことに関して反省といたしますか、次に役立ついろんな意見を頂戴したいと思しますのでよろしくお願い申し上げます。

委 員：ゼロ思案の事に関して仰っていたのですが、今後とも放送のなかで追及していくというような姿勢はあるのですか？

事 務 局：はい勿論です。

委 員：そのあとはどのように放送されたのですか？緊急プランは？

事 務 局：これが2月2日の放送ですが、その後箕面市の方でも動きがありませんので、今取り立てて新しい事は特に発信出来ていない状況です。市民工房で集まったご意見が箕面市のHPに掲載されているということは逐次放送をして、それが今の所、最後の状況です。また動きがあればすぐに発信していきます。

稲垣委員長：よろしいでしょうか。

委 員：今のインタビューもぶっつけ本番というのはなかなか面白いと思ったのですが、市長のスケジュールを聴いているだけで、私はあんまり関心がないので、むしろパブリックコメント、どういう内容が中心になっていたとか、どう考えていくか、もう少し突っ込んで聞いていただくと私どもにフィットするかどうか関心が持てるのではないか、あんまりスケジュールだとか今週何があったという事についてはどうなのでしょう。少し突っ込んで頂くと聞き手としては面白いというイメージで聴いています。

委 員：この番組は初めてやりだした所でございますし、今のところはスケジュール的なうわべだけの組み立てでやってきたようでございますが、今おっしゃったようにこれからもうちょっと踏み込んだ中の色んなやり取りもおこってくると思うのですけれども、こちらがインタビューしてやるようですのでそれを引き出すのもあり方だと思うのですが、そのあたりは事務局の方はどうですか。

事 務 局：内容によりまして、毎週の事なので、スケジュールに従事してしまう部分もありますし、今日も朝8時半から取材をしてきたのですけれども、今回はスケジュールよりは市の4月からの新しい機構改革という所にポイントをおいております。おっしゃるとおり、当初は1週間のスケジュールの項目を羅列していたのですけれども、それだけでは面白くないという事もありましたので、その時々によって突っ込んだお話を伺えるようにこちらも勉強して対応していくべきかと思っております。

稲垣委員長：だいぶお顔のやり取りも出来たでしょうし、徐々にそういったところにはいっていかと思いますのでよろしく願います。

委員：結局稲井さんの仰る通り聞きっぱなしになっているような感じの内容だと思います。継続してやっていく問題点をはっきり出してしまって、次に聞きたいと言うような内容のものを最後に残すのが筋道だと思います。

委員：パブリックコメントで五百何十人かの方の市民の反響があったということですが、そのあとそれを検討してその中で今年の予算に繁栄できるものは、予算案を作って議会に出されているわけです。その議会で昨日採決が済んでその予算について賛成反対の意見も含めて出てきて、最終予算が決定して、4月1日からの予算を施行するという段階ですので、市長としては提案する側としてはそれで良かったのですけれども、その後その意見は一体どのように組み込まれて、そして予算として議会に提案されて、その結果が最終どうなったのかというところの流れを市民の人・視聴者の方がわかるようにしていただければ、議会がそれを決定する意味もわかって頂けるでしょうし、そこでもいろんな議論がされた訳ですから、委員会の中で特に緊急プランについては色々意見があったので、タッキーの方がそのさわりの入口のところを聞かれているのですから、その後のフォローをぜひお願いしたいと、議会にいた人間として思うのです。賛否いろいろありますけれども、どこに問題点があるのかというふうに議会では議論されていたのか。

一般質問の放送もさされるのですけれども、一般質問は個々の議員の質問内容であって、今年の予算案についての賛否がいっぱい出ているのですけれどもその事については放送されていないので、緊急プランというのはこれからの箕面市にとっては大きなことですし、第三セクターもそうですけれども、どうしていくのかと言う事もありますので、市民の方と共有して色々いいところも悪いところも評価できるような形にいただければと思います。

稲垣委員長：先生が仰ったように、市長の発言・行動はみな市民も関心があ

りますし、従来的にやり取りをしても市民は汲み取りたいという気持ちもありますし、そこらのやり取りももうちょっとうまく工夫して頂ければと思います。

それと、個人的な意見ですが、議会の放送もものすごくいいと思うのですが、なかなか聞きにいけないので、放送を車の中でも聞く事が出来て、身近になったという感覚もものすごくあるので、牧野先生の仰ったようなやり取りを違う角度から入れてもらえればと思います。

委員：時間が短いのは一番仕事しにくいところだと思うのですが、毎週あるので、市長のスケジュールを聞くのも結構ですが、忙しい市長が行くのですから、大事な会があったのであれば、わずかな時間でもいいから、そこでこういうのが出た、こういう事も気を付けないといけないとか、こういう問題点があったのが報告されたとか、どういった事をそのとき決めてきたとか、市民が関心を持つようなことを短くていいから報告をする。1つでも具体的に出ればいいと思う。

短いときにまず初めはスケジュールがあってもいいと思いますが、そんなに皆気にしていないと思います。

コメントが寄せられたことも、HPを見なさいでは冷たい、HPにたくさんあります、見れるようになっています、では放送は要らない。一番気になったのがこれですということを聞き出した方がいい。

事務局：前回か前々回でいい風な意見でない事も伺ったので、1回に込めるテクニックがあれば教えていただければ。

委員：今後こういう事をやりたいとか、皆さんの意見を知りたいとか、短い時間なのでインタビューも後のまとめも大変ですけれど一般の人がちょっと聞いただけで、箕面がしている事がわかるように、短くてもいいから何か一つ具体的な事が報告できたらいいと思います。

稲垣委員長：徐々をお願いします。

委員：現場の子ども会の会場に来ています。ということだったので、

参加者のおかあさんにでも「今の市長に何か意見がありますか」とか多少聞いておいて、市民との会話の橋渡し役をしていただければもっと身近な感覚で聴けると思う。HPのコメントの1つや2つをぶつけてみるのもいいのではないのでしょうか。

稲垣委員長：市長とのやり取りを聴取いただいてご意見も多く、皆さん関心があるとつくづく思います。

委員：番組内容をもとめるかという事にもなるのかもしれませんが、事前に送っていただいて聴取してしまして、倉田市長の声は聞きやすいので、こう声で語るのは非常にいい事で、ぜひ続けてほしいと思うのですが、先ほどから皆さんが言われているようにスーッと聞いてしまって、今日は何が言いたかったのかなとなってしまうので、テーマをだしてそれについてきちっと話す。出た人、周辺を巻き込んででると絶対出たい人は聞かし、周辺にも必ず聞くように言うし、あとで聞くときにネットでテーマが書いてあると、もう一回聴こうとか思うので、ファンを増やしていくようになるのでは。又、子どもや父兄を巻き込む工夫をしていくと、どんどん良くなっていくと思います。

稲垣委員長：もっとお聞きしたいのですが、番組が4月からも続きますし編成の関係でも何か言っておきたい事がありましたら、お願いします。

2) 4月からの番組編成について

事務局：番組表が4月1日に刷り上るので、お手元にはコピーがあるかと思いますが。大々的な改編はないのですが、それとは別に町の情報箱という情報紙をお渡ししているかと思いますが、去年の10月の開局13周年を期に私たちが日頃ラジオで発信している事を写真入で、見ていただくという事で、1枚ですが毎月月末発行で1ヶ月間取材をしてきたことを選んで、こういうペーパーを作りました。これらは、同時にHPなどにも随時更新しておりまして、新たにminoh.netというアドレスでみのお情報発信サイトを

オープンさせています。今のところ試験オープンで、4月1日より本格オープンをしていこうということですが、箕面のイベント情報がカレンダーで調べる事が出来たり、箕面で撮ってきた写真を掲載したり、箕面のニュース、たとえば『箕面市では定額給付金はいつ手元にはいるのだろう』と言うような情報を、ここを見ればわかりますというような形で表記したり、桜の時期は、箕面市内でさくらのライトアップのあるところはここですよと言うような情報を掲載したりしている、みのお情報発信サイトをオープンしています。開局当初はHP・ブログなどはまだ無かった時代でした。13年前ですけれども、時代がどんどん流れておりますので、ラジオを中心に情報紙とかウェブサイトを連動させながら箕面の情報という事をキーワードに発信していこう、ラジオだけでなくウェブサイトでも発信していこう、地域にみのおコミュニティ放送というメディアがあるのですから、町の情報ならタッキーに聞けば何でもわかるというようなことをこれからも、今後も打ち出していけるような編成を組んでいこうと思っております。

稲垣委員長：4月からの番組編成の組み立てが出来ているようですけれど、色んなご意見を頂けたらと思いますので、よろしくお願いします。

委員：4月からの番組表の中にもこの事が入っているのですが、CD聞かせてもらって、資料も送っていただいて、つけてみたら眠たかった。いちリスナーとしては聞きたくない。このようなタイトルをつけていて、中身は市長の予定だけでは面白くないし、皆さんも言われているとおり、その中で1つのポイントに絞って案内していただくという方に切り替わった方がいいとおもう。

稲垣委員長：確かに喋るのはむづかしい、マイクがくると緊張して真っ白になって何を喋っているかわからなくなるし、限られた時間の中で喋るのはつくづく難しいと思います。誘導する方のやり取りもありますし、先生方のご意見を聞いたなかで、少しでもなかの仕組みを知って、ポイントをついてもらって、座談会的なやり取りの中での掘り起こしもいいかと思えます。

委員：市の情報とリンクしないといけないので、多岐にわたる情報の何をとあげていいかわかると思うし、インタビューにしてもどこにポイントを置く難しいと思います。取材の方法については、事前に何か打合せをされているのでしょうか？
市役所の営業課と相談したり、事前に情報をもったりして組み立てを考えて取材に望まれたらどうでしょうか。

稲垣委員長：企画だけでなしに、営業課とかを利用すればいいということですが、そのあたりはいかがですか。

事務局：ぶっつけではなく、事前に1週間の予定を知らせてもらって、秘書課からポイントにしたい事、タッキーからポイントにしたい事をあげて、事前に10～15分打合せをしてスタートしている状況です。

1週間で色々勉強していかないといけないですし、今後箕面営業課の方にご協力頂く事も勿論あると思います。

今日でちょうど半年が終わったので、皆さんにご意見をいただいて、革新的に来月から変えて生きたいと思います。

稲垣委員長：皆さんこれだけ関心があるので、内容を濃くして膨らましてもらえればいいと思います。

事務局：テーマをもって、具体的に取組んで参ります。

稲垣委員長：よろしくをお願いします。

委員：私はスポンサーとしてしか関わりあった事がないのですが、顧客主導、なげてがプロ意識をなくしたとき、ほとんどの企業が衰退しているので、基本的にスポンサーの意向を汲みながら、リスナーが何を求めているかというスタンスにたたないと、意味がうすれてくる。

まちのラジオやタッキーたんけん隊、あなたの町から、のようなもっと身近な情報を増やしていくといい。人件費をなくしながら情報を増やしていくには、情報を吸収する仕組みを増やしていく事も必要かもしれない。

みのおのおじいちゃんおばあちゃん登場のタイトル、今のおじい

ちゃんおばあちゃんの思考は何処にあるのか、原点をとらえて番組編成やネーミングを考えてもらわないと今後成り立っていかないと思う。少し解決してもらえればもっと身近になってくると思います。

稲垣委員長：いい部分では手配ができて、ゆき届いて成熟したけれど、逆にある程度までいって横に流れているところもあって、新しい部分や切り替えが欲しいところです。

委員：箕面市役所に勤めている人は、他から通っている人が多いので、あまり関心がないようですが、年をとった人へのサービスが非常に少ないので、そういう事を代弁するのもタッキーの役目である。

稲垣委員長：行政サービスの地域格差が出てきているので、そういった事も取り入れて核にしてもらうののいい。
箕面市は他市に比べると行政サービスは優位に立っている状況ですが、市民が認識できていないという部分がある。

委員：顧客思考、リスナー思考になりなさいということですが、タイムテーブルが気になります。今何を放送しているのかわからないので、わかるようにしてほしい。
中学・高校の放送部を積極的に取り込んで、若い声を取り入れて学校で放送したりして、活用してもらいたい。

委員：一つずつの番組のターゲットが誰で、誰に向けて発信しているのかを明確にしていきたい。ニーズを分析して番組編成に入れていく必要があると思います。
マクドナルドの社長さんの話で、『潜在化したニーズと実際の初期行動は違う』潜在ニーズをさぐることが大切である。
タッキーを聞かない人が聞くようにするにはどうすればいいかということは分析が必要で、それをこの場でしていくには材料を出してもらってそれを議論すればと思います。難しいと思いますが、モニター制度を深めていく土台作り、情報集めをもう少ししたらいいと思う。

稲垣委員長：新しい仕組みの中でやっていってもらえればと思います。

事務局大丈夫ですか。

事務局：わかりました。

稲垣委員長：ご意見いただいた事を実行に移していただければと思います。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置および年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場所における公表内容、方法

自社放送

事務所への備置

ホームページ（<http://fm.minoh.net/>）

上記事項を明確にするため、この議事録を作成する。

平成 21 年 3 月 30 日

みのおコミュニティ放送株式会社

番組審議会